

---

# 相互行為からみる「行」の身体化

—しぐさ・身ぶり・発話に着目して—

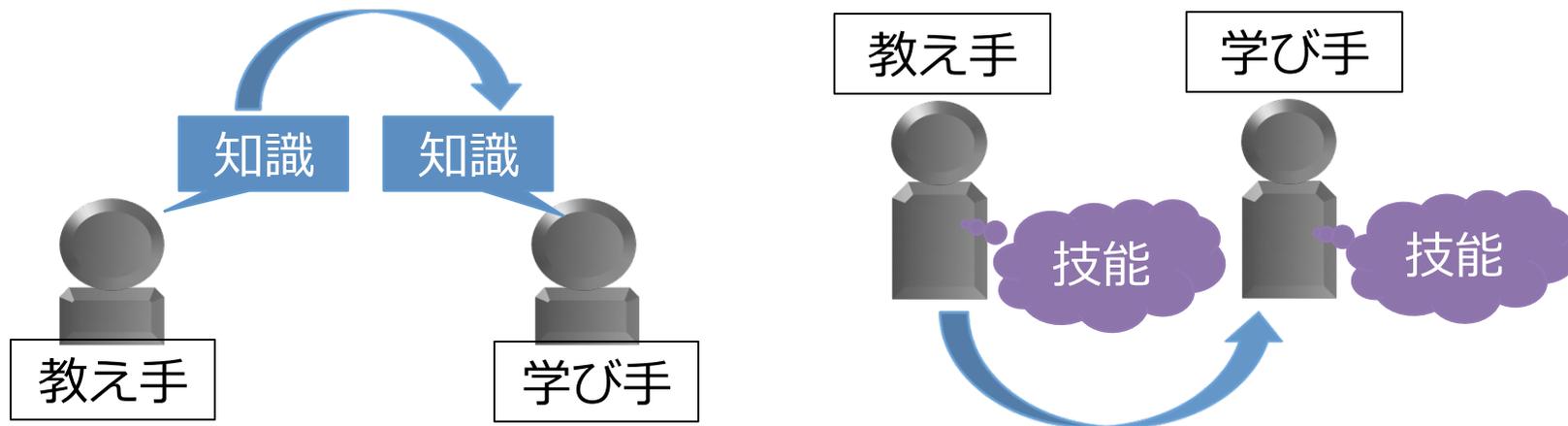
京都大学こころの未来研究センター  
特定研究員 奥井遼  
2012/05/31

# 1. 現在の研究

# 1. 1. 着想

目標

近代教育の発想を乗り越える形で  
「身体による学び」を解明する



近代教育の発想 (西岡, 2008)

...知識・技能の表象化、一方向的に伝達、伝達方法のマニュアル化

# 1. 2. 目的

目的

身体の臨機応変たる働きに着目した「学び」モデルの構築

弟子の変化  
師匠の変化

「学び」の相互作用

伝統、状況

空間的・時間的文脈

教え手

学び手

遊び、模倣、  
同調

身体的相互行為空間

相互身体的「学び」モデル

# 1. 3. 淡路人形座の稽古

座員同士の稽古



中高における指導



使用される指示語の分析

人形の使用感についてのインタビュー

当事者たちの身振りの記述

# 1. 4. 成果

主遣い→左遣い  
主遣い→足遣い

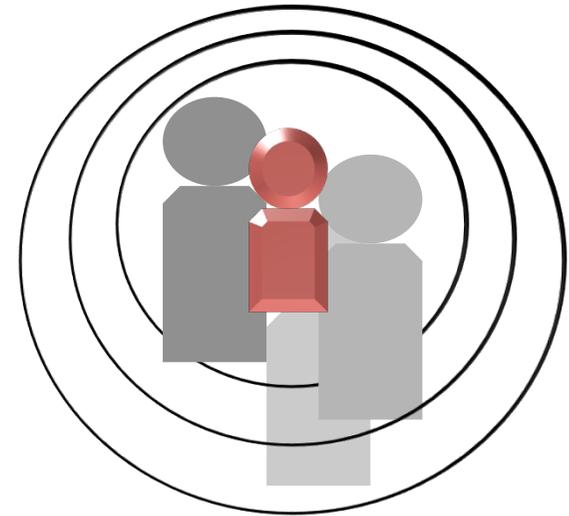
非言語的な  
コミュニケーション回路

(Okui, 2012)

「間」の取れたしぐさ  
主遣い「気持ちいい」  
左遣い「勝手に動く」  
足遣い「軽い」

自己を脱する主体

(Okui, 2012)



成果

「道具としての身体」から、「自ら他者へと向かい、学びを遂行する主体」としての身体へ。

意義

教育学において十分に捉えられなかった身体の働きに光を当てた

---

## 2. 科研での研究

## 2. 1. 着想

問い

相互行為として遂行される「身心変容」の模索

異言、憑依、祭り、修験道

内観、瞑想、座禅

ヘリゲル(1938)の弓体験

「しかし二本目の矢はどう見られるか。これは私から出たのでもなければ、私が中てたのでもない。そこで、こんな暗さで一体狙うことができるものか、よく考えてごらんなさい。それでもまだあなたは、狙わずには中てられると言い張られるか」...それ以来、私は疑うことも問うことも思いわずらうこともきっぱり諦めた。

Csordas (1990)の異言 (glossolalia)

すべての言語は身ぶりのあるいは実存的意味をもっているものであり、異言は、...意味に満ちた世界に棲みつく知性をもった身体の実存的リアリティを 浮かびあがらせているのだ

## 2. 2. 目的

目的

「行」の空間の構造を記述する

弟子の変化  
師匠の変化

「行」の相互作用

伝統、聖典

(超) 空間的・時間的文脈

弟子

師匠

工夫、模倣、  
同調

身体的相互行為空間

相互身体的「行」モデル

## 2. 3. 修験者の身体技法



先達は何を伝えるのか？いかに伝えるのか？

## 2. 4. 祭りの伝承



## 2. 4. 予想される成果

- ①身体的行為（行の手続き）の記述
- ②身体的相互作用の特殊例の発見
- ③表象的意味と身体的意味の接点
- ④人間を越えるものに近づくという「教育」

# 参考文献

Csordas, T. Embodiment as a Paradigm for Anthropology. *Ethos*, 18 (1), 1990, pp. 5–47.

Herrigel, Eugen. 『日本の弓術』, 岩波書店, 1892,

Jean Lave, Etienne Wenger. *Situated Learning : Legitimate Peripheral Participation*, Cambridge University Press, 1991.

Merleau-Ponty, Maurice. *Phénoménologie de la Perception*, Gallimard, 1945. (竹内芳郎、小木貞孝訳『知覚の現象学』みすず書房, 1967. )

———. *L'oeil et l'esprit*. Gallimard, 1964. (滝浦静雄, 木田元訳『眼と精神』みすず書房, 1966.)

Okui, Haruka. Who Is Manipulating the Puppet? A Phenomenological Analysis of Puppet Performances on Awaji Island, Japan, (ed). Daniel Benavidesin. *Bodies & Folklore(s): Legacies, Constructions & Performances*, Escuela Nacional Superior de Folklore José María Arguedas, 2012, in print.

Ryle, Gilbert. *The Concept of Mind*, Hutchinson's University Library, 1949.

生田久美子『「わざ」から知る』東京大学出版会, 1987.

奥井遼「メルロ=ポンティにおける『間身体性』の教育学的意義——『身体教育』再考」『教育学研究科紀要』57号, pp. 111–124, 2010.

西岡けいこ「脱自あるいは教育のオプティミスム——ソルボンヌ講義を起点とする肉の存在論の教育思想的意義——」『現代思想』36巻16号, 2008, pp. 347–357.